

會 務

土木學會誌 第十六卷第六號 昭和五年六月

- 昭和五年五月十日より十一日に亙り第十五回視察旅行として群馬縣下關東水力電氣株式會社佐久發電所，東京電燈株式會社澁川發電所並に鐵道省清水隧道を見學し伊香保に一泊の旅を催したり，參加者五十七名。(別記旅行記參照)
- 同年同月廿一日第五回編輯委員會を開く，中川會長，黑河内委員長，岡田，菊池，鈴木，田中，田中，藤井，三浦，山口の各委員並菊池囑託出席會誌編輯上に就き協議を爲せり。
- 同年同月廿七日午後五時より東京市麴町區丸の内帝國鐵道協會に於て講演會を開き下記講演ありたり。來聽者中川會長，古市前會長始め九十八名，講演終了後同所に於て有志晚餐會を開き，盛會裡に午後九時散會せり。

軌近に於ける平面交叉分離 (Grade Separation) に就て

會員 鐵道技師 川口利雄君

- 同年同月十一日土木學會誌第十六卷第四號發行成規の手續を了し翌十二日各會員に配布せり。

調 査 會 記 事

- 昭和五年五月二十二日第廿一回用語調査會幹事會を開く。青木，稻葉，内村，鮫島，關，田中(寅)，富永，中桐，糠澤，福田，の各幹事，白石，中川兩囑託出席下記部門の分科會原案に就き討議を爲せり。

港灣之部，河川之部 (其二，三，四) 鐵道之部 (其二) 水力電氣之部 (其一) 橋梁及構造之部 (全部)

- 准員三谷千里君は「笹田」と改姓せられたる旨通知ありたり。

- 下記諸氏は退會せられたり。

會員	野田六次君	上原直吉君	長濱重慶君	山本廣一君
准員	佐山陸之助君	櫻井盛男君	澁谷順作君	關良篤君
	田中浩君	廣岡宮之助君	福田英夫君	丸山齡治君
	武藤弘喜君	安見伊之助君		
學生員	宮子時雄君			

- 昭和五年五月一日以降同月末日迄に入會の手續を了し名簿に登録したる者下記の通。(○)

印は學生員より轉格)

准 員

○川久保重政君 田浦謙二君 田口滿三君 ○高橋孝一君
○武田四郎君 安川勉君 和田定雄君

學 生 員

高島禎一君 石川昭君 竹内修君 富田恵吉君
山瀬重夫君 吉見博君

○昭和五年五月十六日以降同年六月十五日迄に於て寄贈竝に交換を受けたる雜誌其の他下記の通り。

寄贈の分

補助漁港修築工事計畫概要	1冊	農 林 省 水 産 局
明電舎ジャーナル第1號及2號	2冊	守 谷 商 會
滿洲技術協會誌第37號	1冊	滿 洲 技 術 協 會
啓明會第36回講演集	1冊	啓 明 會
日本建築史參考圖集	1冊	建 築 學 會
水道鑄鐵管に對する流速及流量圖表	1冊	水 道 研 究 會
The Excavating Eng. No. 5	1冊	三井物産株式會社機械部
學士院記事第3,4號	2冊	帝 國 學 士 院
工學彙報第1號	1冊	九州帝國大學工學部
工學六月號	1冊	東 京 工 學 社
工業六月號	1冊	大 阪 工 業 會
工學部記要第10號	1冊	東京帝國大學工學部
工學部記要第3號	1冊	九州帝國大學工學部
工業之大日本第27卷第5號	1冊	工 業 之 日 本 社
工業要録第5號	1冊	工 業 資 料 調 査 會
工事畫報第6號	1冊	工 事 畫 報 社
工人第103號	1冊	日 本 工 人 俱 樂 部
國立公園第5號	1冊	國 立 公 園 協 會
シビル六月號	1冊	シ ビ ル 社
セメント界彙報第235號	1冊	日本ポルトランドセメント同業會
鐵道技術第4卷第5號	1冊	鐵 道 技 術 社
電氣製鋼第6卷第5號	1冊	電 氣 製 鋼 研 究 會

電氣ヴキクトル第2卷第5號	1冊	電力需給促進會
東京工業會誌第6號	1冊	東京工業會
東京土木建築業組合報第5號	1冊	東京土木建築業組合
度量衡第214號	1冊	日本度量衡協會
内外工業時報6月號	1冊	最新工學普及會
内外工業時報五月號	1冊	最新工學普及會
日立評論第5號	1冊	日立評論社
米國少年裁判所の研究	1冊	啓明會
三菱電機第6卷第5號	1冊	三菱電氣神戶製作所
交換の分		
衛生工業協會誌第5號	1冊	衛生工業協會
機械學會誌第157號	1冊	機械學會
建築雜誌第533號	1冊	建築學會
工政第126號	1冊	工政會
工業化學雜誌第6冊同歐文綴	2冊	工業化學會
港灣第6號	1冊	港灣協會
造船協會雜誌第98號	1冊	造船協會
帝國鐵道協會報第5號	1冊	帝國鐵道協會
鐵と鋼第16年4號	1冊	日本鐵鋼協會
電氣學會雜誌第502號	1冊	電氣學會
日本建築士第5號	1冊	日本建築士會
日本鑛業會誌第541號	1冊	日本鑛業會

第十五回土木學會視察旅行記事

本學會の視察旅行が年一回であるから夫丈け意義のあるものであり、亦愉快なものであることは言葉の限りでない。昨年の京阪地方への視察旅行に引換へ今年の夫が山其のものと河を相手のものであつた點に於て其の視察の範圍も水力發電所であり、隧道工事で在つた。然も時は新緑、青葉若葉に包まれし連峰、偉大さ其のもので在り、將森羅萬象を包含する山河に接するとき吾等の胸は一入高鳴を禁じ得ないものが在つた。土木界の權威を網羅せる本學會の此の旅行が如何に盛大であり、將亦壯快であつたかは行を共にせし者のみの味ひ得た處であらう。

而して此の旅行は次の如きスピード時代にふさわしい急テンポを以つて、然も吾々の常に渴し求めて居つたものを解決して呉れた様なメロディーに充分ひたり得たことを思へば一層愉快である。

第一日 5月10日

- 午前 7 時 20 分上野驛集合、同 7 時 35 分上野驛發
- 同 11 時 26 分澁川驛着、同 11 時 30 分自動車にて關東水電作久發電所に向ふ
- 同 11 時 45 分同所着、同發電所見學
- 午後 0 時 30 分同所俱樂部にて晝食、同 0 時 55 分より同所にてサージ・タンクに就きて講演
- 午後 1 時 15 分同所出發、同 1 時 20 分サージ・タンクに到りガソリン・エンジンにて調整地に向ふ
- 同 1 時 30 分同所着、同所見學、同 2 時同所出發
- 同 2 時 20 分作久發電所前庭にて紀念撮影、同 2 時 25 分同所出發、自動車にて東京電燈澁川發電所に向ふ
- 同 2 時 40 分同所着、同所見學、事務所にて茶菓の接待を受く
- 同 3 時 20 分同所出發、自動車にて伊香保に向ふ
- 同 3 時 45 分伊香保町に到り椿名山登山ケーブル驛に向ふ
- 同 4 時 5 分ケーブルにて登山、10 分運轉時分
- 同 4 時 15 分自動車にて椿名湖椿名富士の英峯を眺めつゝ一周す、同 5 時ケーブルにて下山
- 同 5 時 25 分伊香保温泉木暮金太夫旅館に投宿
- 同 7 時 30 分より關東水電及東京電燈兩會社合同歡迎祝宴の歡待を受く、同 9 時 30 分宴會終了就寢

第二日 5月11日

- 午前 7 時 30 分朝食
- 同 9 時水暮金太夫旅館出發、自動車にて澁川驛に向ふ
- 同 9 時 25 分澁川驛着、同 9 時 41 分同驛發、水上に向ふ
- 同 10 時 15 分頃列車中より關東水電取入口、沈砂池を眺む
- 同 11 時頃車中にて晝食をとる

同 11 時 23 分水上驛着、同 11 時 40 分水上發、土合口に向ふ、同 11 時 55 分湯槍會着、午後 0 時 20 分土合口着
 同 0 時 50 分清水隧道見學
 同 1 時 25 分頃隧道入口より 2 哩 30 鎖附近の硝出作業及穿岩機による掘鑿作業を見學
 同 2 時 20 分見學を終へ土合口に至る、同所にて工場作業を見學
 同 2 時 50 分土合口發、同 3 時 20 分湯槍會着、同 3 時 40 分水上着、同 3 時 48 分水上發、歸途に着く
 同 8 時 40 分上野着、解散

前夜より降りしきつた五月雨も其の足並が漸く不揃ひになつたけれど、クリヤーアツプし
 そうにも見えないので心配だつたが、氣象臺の確信ありそうな報告にやゝ愁眉を開ける様
 に見え初めた。午前 7 時 35 分出發と言ふのに早くも午前 6 時 40 分頃、川上浩次郎氏トツ
 プを切り、にぎやかな笑顔を見せる、是が蓋し今日一番槍。次いで 50 分頃には副會長眞
 島健三郎、堀内貞造、神原信郎、田中正夫、稻垣兵太郎の諸君陸續として參會、7 時頃には
 中川會長の顔も見え、上野驛構内に設けられた土木學會視察旅行團臨時受付所も中々忙しい。
 斯くする中雨も如何やら止んだらしい。南寄りの朔風おもむろに朝と言ふ雰圍氣が一杯に漲
 ぎつて居る。關東水電、東京電燈の方々も數名わざわざ吾等一行のために參じられて居る。斯
 くして上野驛にて合計 45 名、胸に黄色のばらの花を飾りつゝ水上行列車の尖端を切つて連
 結された貸切二等車 2 臺に分乘し、此の壯快極りなき旅立のスタートは切られた。空はどん
 よりと物欲しげである、晴天になる前兆かも知れない。山へ、山へ、吾等を乗せて快走する
 列車のエンヂンの響も一入心地快く、武藏野の眞只中を一路北へと進んで行く。上野運輸事
 務所長も臨時會員として行を共にせられたのも愉快だ。尾久操車場を左に見て響音錯交せる
 塵埃の巷より雨後の紫雲英草咲く田園へと漸く解放されんとして居る。赤羽驛にて橋本
 (敬)、新井、上野の 3 君を迎へ、荒川の橋梁も今過ぎしと思ふ頃早や浦和に着き、喜多氏を
 同行に加へて愈々盛んだ。吾等を運ぶ列車のエンヂンの連続的躍動、鈍角にゆらぐ麥畑、紅
 白、紫に色どられし躑躅の森、是等のものが吾等を新緑の中に打込んでしまつた。天候は急
 速なテンポで晴れやかさに向はんと努力して居る、時々宇宙の女神たる陽の光が層雲の間か
 ら其の笑みを見せて呉れるのが一層嬉しい。

斯界に其の權威と其の位置とを以て牛耳つて居らるゝ此の一行も久方振りの肩のこらぬ此
 の旅に少なからざる昂奮と感激とを以て、彼處此處にグループとなり觀談がもれて來る。大
 宮を出で、より關東水電作久發電所及び東京電燈金井、澁川兩發電所のパンフレットが配布
 される。亦此の行を一層盛んならしむるため豫ねて用意のビール、サイダー、菓子、さては
 果物等にて痛飲することしばし。然しさすがは職掌柄この位のことではお茶位のきゝめしか
 なさそうだ。

斯くする中、8時40分頃車窓より清楚たる富士の峻峯を眺めしとき、其の嚴然なれど、すべてを許容するが如き其の容姿にしばし恍惚たるものが在つた。武蔵野の平野の外部も次第に近づいて來たところ熊谷驛にて松村、中山(忠)兩君、元氣好く乗込む。中山氏が持ち込んだ關東奥羽さては北海道邊り迄の名所案内十數葉を一行全部に配布すれば、之れにもしばし笑が咲く。天氣も9時半頃には全く上り、吾等の之れに對する心配も杞憂に過ぎなかつた事を眞面に確證して呉れた。

かくする中に間も無く高崎、此處にて高君を一行に加へて列車もしばし此處にて憩い、愈々10時45分高崎を後に吾等の問題の中心たる上越南線へと分岐し氣濃厚なる深山へと引きづられる。「山に來たな」と言ふ氣持が深刻に腦裡を打つ。新前橋も過ぎ早や澁川に近い。今日見學の作久發電所のサージ・タンクの塔が十數哩の此方から其の雄姿を眺められる。車窓には色々の頭のプロフィールが出来る。銀鼠色の燦たるサージ・タンクの魂然として岐立し、陽光に放射狀に放出する射映、只々驚愕の外はない。此處にも時代の尖端がうかがはれる。

午前11時26分澁川驛に着いた。今迄車内の重たい空氣から解放され背延の一つもしたい位の心好さだ。太陽もまぶしい位吾等の背に光をなげかけて居る。11時35分、驛前に用意された群馬縣廳、其の他數臺の自動車に分乗、絨緞のクッションに身をうづめつゝ、小砂利敷きつめた田舎道を一路關東水電作久發電所に向ふ。程なく利根の本流に出づ、せゝらぎを耳に收め銀波躍如たる奔流に嬉を覚え、本流に沿ひて一面開けたる山河のコンビネーション造物者の世の配在の巧妙さに一入感歎するものが多い。程なく此の本流を横切りて架けられたる「てんとうばし」を渡り、今過ぎし道と川を距てゝ反對側を上流に向ひ峻崖に沿ひつゝ快走することしばし、11時45分作久發電所に到着、車を捨て眼前屹立する260有2尺のサージ・タンクを仰望すること數瞬時、鶴田氏の説明案内にて發電所内を見學す、回轉中のタービン(常時は3臺中1臺を使用)、安全防火設備を視、階下に下れば肌面冷氣を覺ゆるタービン瓣に送水するパイプの間を縫歩するとき、強大なる水の力もて遠くへ送電する活動の力を創造するかを思ふとき、個々の是等を構成するものに重大なる任務が掛けられて居ると言ふことを如實に見せつけられた。

發電所に付き略述すれば

容 量	66 000 K.W.
許可出力	55 000 K.W.
建 物	發電室 間口 8 間、奥行 33 間、棟高 70 尺、下家 間口 5 間、奥行 33 間、總二階
設 備	發電機： 28 000 K.V.A. 3臺(ウエスチングハウス會社製)、
	水車： 36 000 馬力 3臺(アリスチアルマース會社製)、
	配電盤： ベンチボードタイプ、スキツチ トラツクタイプ

其他ハウスユニットとしてアリスチヤルマース 450 馬力横軸イムパルスタービン直結 300K.V.
A. 交流機を使用し、消火装置としてラックス炭酸瓦斯装置を有す

然して階上に至ればコントロール・ルームにてライザー並にサージ・タンク内の水位表示メーター、等を見學し終りて同所を出で坂を登れば同所のモダンな俱樂部に入る、時に午後零時半。

直ちに同所接待の晝食にビールの満を引き、舌鼓を打ち、小憩する中下田尾氏のサージ・タンクに就きての講演あり、質問續出して盛んなり。午後 1 時 15 分頃同俱樂部を立出で、デツグザツクな坂道を登れば容量 965 000 ガロン (19 300 石)、總高 262 呎、タンク内徑 41 呎のサージ・タンクに出づ。足下に利根の驚濤を一眺の中に修め前面遙かに榛名連峰を斷雲の中に望み、眺望一入壯絶なり。此處にてガソリン・モーターにて曳かれたるトロリーに分乗しプレツチャー・コンデットに沿ひて行くこと 480 有 6 呎にして調整池に至る。前面に延長 290 間、高さ 80 呎、底幅 70 呎のダム其の巨體を横へるを見る。鐵梯子を昇れば堰堤頂に出づ、水深 15 尺、總面積 45 000 坪、貯水量 1 600 萬立方尺なる調整池よりプレツチャー・コンデットへと送らるゝ水の波立ち、飛沫顔に當りて冷氣におそはる。堰堤頂上を歩むこと 290 餘間にして余水堰よりオーバー・フローせる水の其の構造階段形なれば流水段に當りて瀧となり急峻なる余水路に落ち遙かに放水路に落つる迄トンネルを以て連絡されて居る。

終りて今來しをコンデットに沿ひてトロツコに揺られつゝ下ること 4 300 有餘尺、車を捨て、サージ・タンク前に立ち放水路を眺めば余水路の水之れに落ちて噴水となりて清流中に躍るを見る。此處よりペンストツクに沿ひて設けられたる運搬用索道を下れば發電所前に出づ。時に午後 2 時 20 分。同所前庭芝生にてサージ・タンクをバツクに紀念撮影をなす。

愈々吾等の今日勞頭の見學を終り、自動車をかりて次の行程へと其の歩を進めた。

此處にて振り起りし電力は瞬時を出でずしてエンヂンを動かし、モーターを回轉せしめはては家庭に樂園の夜を現出して呉れる光の原動力をなすつゝあるパワー・ハウスと一別するの悲しさを感じざるを得ない。

扱て吾等は元來し道を澁川驛に向けドライブ、澁川驛にて三浦君を一行に加へ、澁川の町を横ぎりて町端れ近くに至れば東京電燈澁川發電所に達す、時に 2 時 20 分。直ちにヂエネレーター室に入りて説明を聽く。階下に入りてタービンを見學。此の發電所は現在運轉休止中のものにして寝れる巨人の感あり、一旦運轉開始せば忽ち 5 800 k.w. の發電し得るものなり。此の群馬一帯には斯の如き發電所の數、數十に及び發電王國の感多々あるものがある。室を出で同所前の階段を昇れば長さ 112.5 尺、幅 52 尺、水深 32 尺の水槽に出づ、然も此の水槽迄引水するため町内の道路を亘長 180 尺、幅 20 尺、高さ 9 尺のインバーテット・サイホンにてオーバーし居るものにして略記すれば

使用水量	最大 1 200 秒尺	最小 820 秒尺
有効落差	72 尺	
發電力	最大 5 800 K.W.	最小 4 000 K.W.
設 備	水 車 6 150 馬力 2 臺(エッシャー・ウイス社製)	
	發電機 4 250 K.V.A. 2 臺(ウエスタンクハウス社製)	
	勵磁機 150 K.W. 1 臺 (")	

斯くする中東京電燈前橋支店長福島氏等わざわざ我等を歓迎し同所事務所にて茶菓、果物、サイダー等の接待に、しばし初夏の眞晝の暖さに渴せし咽喉をうるほせしとき甦生せる心地す。

かくて吾等は今日のコースの最後たる伊香保を目指して車を進めた。今朝來のフルスピードの視察にいさゝか疲労を覺えた體をクッションにうづめつゝ、澁川の町を出づる頃、愈々道は森や林の緑につつまれ、點々と咲き誇る躑躅の影に夏來るの感を身に一杯に浴び、うたゝ寝の心地好さを覺ゆる頃は道は坂にかゝり、伊香保の町端れに至る頃は山色愈々深く清冷一入加はり、遠くに響くせゝらぎ、梢を渡る名知らぬ鳥のほゝ笑み、四圍を包む連峰の横面をたなびかせて居る斷雲を眺めつゝ、胸一杯山氣にむせびつゝ榛名山ケーブル山麓ステーションへ車を走せた。伊香保の道幅狭き中を凸凹はげしきバイブレーションを身もくだけよと許りに受けつゝケーブルに至れば我等の來るの餘りに遅きを待ち遠しとばかりに乗車させられ10 分間にて山上に到着。此のケーブルは勾配はやゝ緩なるも其の延長に於ては日本に於て冠たるものと聞く。此のケーブル昨秋運轉開始する迄は雌馬に跨りて登山せしとか。

此處にて數名づゝ自動車に分乘、榛名富士を左に見て榛名湖に出づ。湖水周圍1哩、前方横雲に包まれし榛名連峰をバックに操音軽くモーター・ボートの快走する湖面を望むとき「快」此の一字にて此の景を遺憾なく物語るものたることを見出した。かくて湖水を一周し山上ケーブル驛に歸り午後5時のケーブル・カーにて下山、これより坂路に一層疲労を覺え右に曲れば間もなく今宵一夜をまどろむ木暮金太夫旅館に着いた。

かくして第一日の視察も全く終了し早朝よりの疲労を湯壺にひたすとき、心地好き天空をかくるものが在つた。

斯くする中午後7時半頃より本旅館大廣間に於て關東水電並に東京電燈兩會社招待の歓迎會に臨む。北村君の挨拶に次いで中川會長の演説等在りて宴に入る。杯をかたむくこと數こんにして伊香保將亦澁川町より遙々遠征の名妓數十名彼處此處と我等の歓迎に忙しく人の間を縫步する様あでやかなり。宴將に酬、伊香保音頭、伊香保節の踊に陶酔し、しばし痛飲盡る處を知らざるの感在り。あちこちに御國自慢、亦喉自慢のくさりも出で盛會なり。然して會を閉じ、は9時半頃。

扱て宴終りて相當に赤らんだ顔を三々伍々伊香保の町に現はしたのも數刻に出でざる時で在つた。散策久しうして寢に就き夢地をたどる。

明くれば 11 日。午前 5 時と言ふのに已に起床せし方少くない、元氣其のもので在る朝湯の味亦快。然して朝の空氣胸一杯に伊香保の町を其の湯元に向けて散策するもの多し。伊香保 蓋し町中階段と坂と云つても過言でない。其の道の中央に温泉を送るパイプが地下を通り處々より湯氣立登り霧氣となり温泉町だと云ふ感が深い。伊香保神社に參拜し道を右に取り進めば小川のほとり、かちかの鳴音一層清らかに神氣を覺ゆ。程なくと言ひたいが（立札には 5 分にして湯元に達す）可成り歩むとき漸く湯元らしきものに至る。されど其の湯元たるや地下に在りて地表に出で居らざる故發見に苦しむこと甚し。かくして散策に輕き倦怠を覺え 7 時半頃朝食を取るころ、元氣一杯、出發を待つのみ。

午前 9 時愈々第二日目のコースに 10 數臺の自動車に分乗、木暮旅館を出發、山を下りてモーターの響も輕やかに林間を縫ひて澁川驛に到る。9 時 40 分澁川を後に列車は愈々景勝の地へ一歩々々を進めた。清流巉崖、山亦山、山水の送迎に忙しい。敷島驛を過ぎ 10 時 15 分頃車中より關東水電取入口堰堤（固定堰重力式直線堤高さ 40 呎、長さ 274 呎、敷幅 50 呎、可動堰、洪水吐、ローリング・ゲート高さ 15 呎、幅 58 呎、3 門、ストロー・ゲート高さ 15 呎、幅 21 呎、2 門、土砂吐、ストロー・ゲート高さ 21 呎、幅 12.5 呎、2 門）、沈砂池（長さ 600 呎、幅 180 呎、平均水深 20 呎）及び魚梯等を望みつゝ利根の本流に沿ひて上ることしばし、岩本驛にて坂本氏と袂を分ち 11 時頃には、少し早き恨みは在つたが行程の關係上晝食を喫す。岩本驛を過ぐる頃は左に利根溪谷たる譚訪峽の絶景をたゞへ、あだかも甲州昇仙峽に髣髴たるもの多く雄大なる勝景にあくことを知らない。

斯くして 11 時 40 分水上驛に到着、清水隧道工事關係者 10 數名の盛んなる出迎を受け、建築用機關車に牽引されて溪谷に沿ひ右に ループ・ライン を抑望しつゝ快走する中湯楡會に着き、此處にてガソリン・エンジンにて曳かれたる輕便車に乗り換へ長蛇の如き坂路を上ること久し。前面に清水連峰の雪溪を眺め夏尚ほ寒き感は在れど一點の雲だに見出し得ない長閑に舞れし空にのんびりと軌道をきしめる車輪の交響樂も心地好く綠あやなる山氣充分に土合口に到着す。建設詰所前に張りつめられた天幕内に入れば香氣高き紅茶に渴をうるほし、早速防水外套に身を包めば忽ち現場員に早變りとなつた。モーター・カーに曳かれし 10 數臺のトラックに分乗し、橋を渡れば延長 6 哩餘、東洋一にして然も世界第六位に位する隧道へと入る。冷氣身にこたへ、點々と設けられし電燈を見送り、出迎へられ右にそれ、左に廻りて進んだ。此の山は地質好く殆んど全部岩石にて構成さるゝ故支保工の姿を見るもの少く、あだかも洞穴の中を行くが如し。入口より 2 哩 30 鎖附近に達する頃は一面廣く開けて此處に茂倉信號場を設置さるゝとの由。此處にて車を捨て鑿岩作業を視る、鑿先岩に當りて粉となり、霧と

なりて飛ぶ中を進めば昨年暮鐵道大臣の押せしボタンにて爆破貫通せし地點此處かと感歎しつゝ奥に来ること4~5鎖、マイヤース・ホイレー使用硝出作業を見る。橋本(敬)、宮本兩氏は長岡口へ抜くため一行と袂を分つた。

斯くすることしばしにて元來し隧道を土合口に引き返す。午後2時20分外套より解放され慰ふ中本工事使用の器具機械製作修繕工場を見學し2時50分視察を終へ現場の方々に送られつゝ下山す。湯檜會を過ぎ車輪の響に疲労をいやしつゝ3時40分水上驛に戻る。待つ間程なくして午後4時48分水上驛を後にして吾等一行は視察の全工程をはたして歸途に付いた。暮色せまりて初夏のすがすがしい夕べが車窓を訪れて呉れる。高崎を出で、夕食を喫し午後8時40分上野着、此處に於て視察旅行の幕は閉ぢられた。

二日間に渡る此の視察旅行が吾等一行に如何程好結果をもたらせしかは今更喋々を要しない。此の視察旅行に多大の御援助御配慮を辱ふした關東水電、東京電燈、並に鐵道省清水隧道工事關係者に厚く厚く感謝の意を表するもので在る。

尙ほ此の視察旅行參加者を記すれば次の如くで在る。(順不同)

川上浩二郎	眞島健三郎	堀内貞造	田中正夫
稻垣兵太郎	吉田俊三	森川藤次	上野有芳
新井榮吉	井上秀二	岡村信三郎	片野文吉
小野基樹	岡崎保吉	喜多權次郎	高敏郎
神原信一郎	眞田秀吉	島雅義	下浦眞清
坂本雅雄	杉本好太郎	相馬龍雄	那波光雄
白石茂美	谷口三郎	鶴田勝造	永井松次郎
高木義照	中倉專一郎	中山忠三郎	林將治
中川吉造	橋本敬之	島山好伸	堀口多吉
西 義一	星野茂樹	三浦宇三郎	宮本武之輔
平井喜久松	松村 務	山本新次郎	山邊芳雄
森 忠藏	北村嘉太郎	山岸倉藏	中川一美
海老澤昇二郎	松本利一	小林孝造	白石益雄

本旅行費内譯は次の通りである。

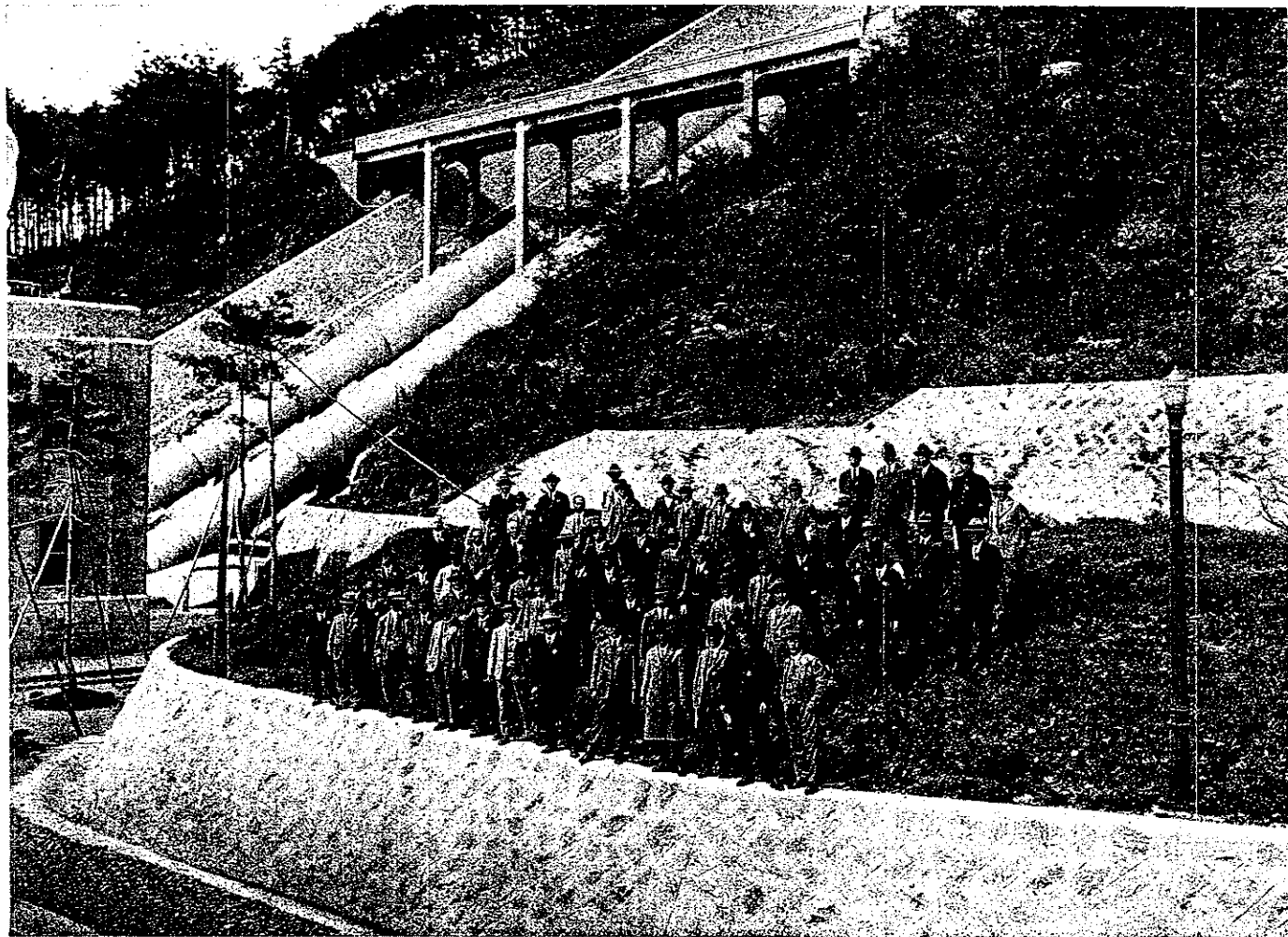
支	出
上野水上間往復汽車賃	178.88
木暮旅館宿泊料及茶代	245.50
貸切自動車賃	130.30
ケーブルカー乗車賃	21.60
歸路汽車辨當2回分	54.45
雜費(汽車中飲物、果物其他)	44.70
計	675.43

會 務

收 入

參加會員より徴收會費	616.96
學會より支出金	58.47
計	675.43

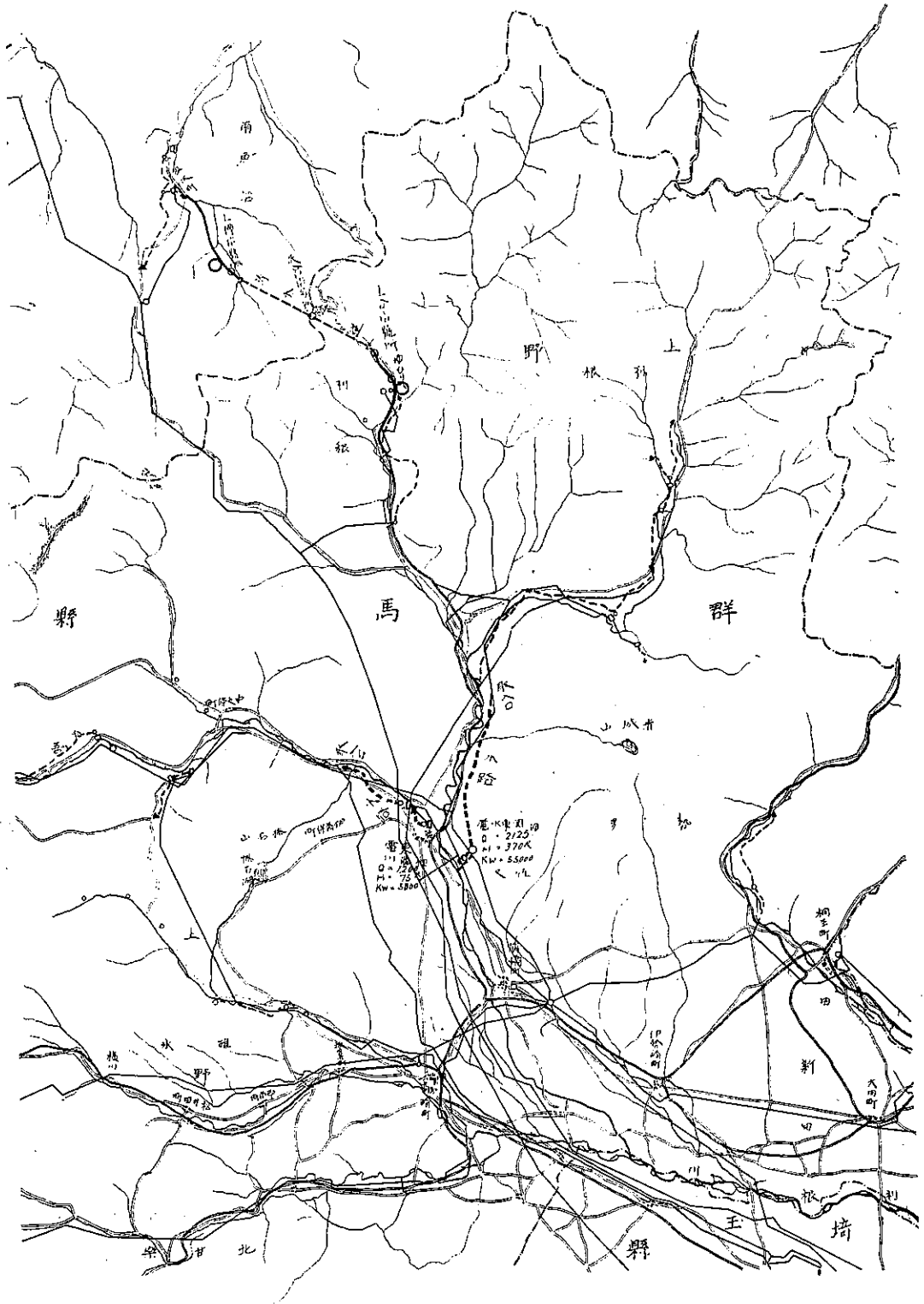
寫 眞



(土木學會第十五回視察旅行記念攝影)

土木學會第十五回視察旅行記念攝影 (昭和5年5月10日作久發電所に於て)

附圖



正 誤 表

軌近に於ける地下埋設物の整理に就て
(第十六卷 第六號 所載)

頁	行	誤	正
1	11	地下に	道路内に
2	6	幾らか	幾分でも
2	7	地下の	路下の
”	26	中心地の	都心地の
3	9	地下の	路下の
3	15	—————	一寸を削除す
4	自 1 至 2	設られたものであります	設られたものが最初であります
”	8	共同坑に	共同管道に
5	5	下水は	排水は
5	24	125 ホンド	124 ホンド
”	26	125 ホンド	124 ホンド
5	28	2480 ホンド	2,490 ホンド
”	32	10 圓位	10 圓餘
6	7	ピカデリサーカスの	ピカデリーサーカスの
”	”	地下鐵道のステーションの	地下鐵道ステーションの
”	8	1927 年	1928 年
”	9	28 年	27 年
”	32	小包の	小包用の
7	3	逓信省の	電話線路の
8	21	中心部にては	都心部にては
9	9	ものでありませぬ	ものはありませぬ
9	10	一現況圖を	敷設圖を
10	19	直接に	直接歩道下に
12	4	一箇所で	二箇所で
12	7	掘鑿中には	掘鑿内には
13	12	25 523 400 圓	25 528 000 圓
”	13	官公會社に	官公所會社に
”	14	官公會社自身	官公所會社自身
”	28	設計が地上の構造物に對して	設計が土地に對して
15	31	官公會社から	官公所會社から
”	自 31 至 32	工務課長に	工務課内に
16	13	東京驛管道	東京驛裏口管道
”	14	共に皆收容	共に收容
20	自 22 至 26	近頃用ひられて……と思ふのであります	(近頃用ひられて……と思ふのであります)
”	27 31	即ち街路を……と思ふのであります	(即ち街路を……と思ふのであります)
附圖第二	上段	ロンドン市ピカデリーサーカス地下埋設物 一般平面圖	ロンドン市ピカデリーサーカス共同管道一 般平面圖
附圖第二	下段	縦断面圖	圖面轉倒
附圖第二十六		下段右	表末に備考として以下を加へること
			V = 通風速度……………尺/分
			q = 通氣量……………立方尺/時
			R_1 = 十時間後 = 於ケル最初ノ氣體殘量…立方尺
			R_2 = 三時間後 “…………… ”
			r = 7 % / 混合比ヲ生ズヘキ瓦斯濃洩量…立方呎/時

會 告

昭和三年十月以來用語調査會幹事會にて作製したる原案に就き委員意見を徴し更に幹事會にて審議し今回下記の通り第一回幹事會案を決定したるにより之れを會誌に發表し本學會全員の意見を徴することに致候問別紙幹事會案相當欄に御意見御記入の上 8 月 31 日迄に本學會へ御返送相煩度此段得貴意候

用語調査會幹事長

各 位

第 一 回

用語調査會幹事會案

河 川 之 部 (16 語)
鐵 道 之 部 (28 語)
港 灣 之 部 (13 語)
下 水 道 之 部 (21 語)
應 用 力 學 之 部 (29 語)

備 考

1. 用語調査會にて審議すべき用語を下記部門に分割し各擔當幹事を定む。
河川、水力電気、上水道、下水道、水理、砂防、港灣、道路、軌道、都市計畫、材料及施工法、應用力學、橋梁及構造物、鐵道、測量、土木機械
2. 本幹事會案は各擔當幹事が原案を作製し幹事分科會にて討議したる後幹事會にて之れを審議し之れ等に就き委員の意見を求め更に幹事會にて審議せるものなり。
3. 用語に適宜番號を附し且つ見出しは主名詞(英語)の頭字を探り整理に便せり。
4. 用語は日、英、獨、佛の 4 箇國語とし獨逸語の頭字は大字となす。
5. 各國語中 2 種以上ある場合重要なるものより書き下し余り重要ならざる語は () 中に入るゝこと。
6. 獨、佛兩國語の性別には (m), (f), (n) を用ふ。
7. 用語中にある假名は平假名とし定義解釋中にあるものは片假名とす。
8. 定義解釋中「 」内の語は用語として別に定義解釋せられあるものなり。

(河川之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 1 B	日	背 水	「水路」中ノ障碍物=ヨリ高メラレタル水又ハ「水位」	
	英	backwater		
	獨	Aufstau (<i>m</i>) Rückstau (<i>m</i>)		
	佛	remous (<i>m</i>)		
No. 2 L D 及 E	日	堤 防	水ノ氾濫ヲ防グタメ土、砂利等ヲ盛リテ作りタル工作物	
	英	levee dike embankment		
	獨	Deich (<i>m</i>)		
	佛	levée (<i>f</i>) digue (<i>f</i>)		
No. 3 B	日	築 堤	「堤防」ヲ作ルコト	
	英	banking		
	獨	Aufschüttung (<i>f</i>)		
	佛	remblai (<i>m</i>)		
No. 4 B	日	小 段	「堤防」ノ「法」=設ケタル段	
	英	banquette		
	獨	Bankett (<i>n</i>)		
	佛	banquette (<i>f</i>)		

(河川之部)

種別	用	語	定義解釋	會員意見
No. 5 B	日	ば	「河口」等=テ航行及水流ノ障碍トナル土砂ノ堆積セルモノ	
	英	bar		
	獨	Barre (f)		
	佛	barre (f)		
No. 6 W	日	堰	引水其他ノタメ「水路」中=テ水ヲ堰キタル工作物	
	英	weir		
	獨	Wehr (n)		
	佛	barrage (m)		
No. 7 B	日	流域	降水ガーツノ「河川」=集ル區域	
	英	river basin catchment basin drainage basin		
	獨	Flussgebiet (n) Niederschlagsgebiet (n) Einzugsgebiet (n)		
	佛	bassin (m)		
No. 8 B	日	犬走	「堤防」ノ「法先」=沿ヒタル平場	
	英	berm		
	獨	Berme (f)		
	佛	berme (f)		

(河川之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 9 C	日	運河	水運其他ノタメニ設ケタル「水路」	
	英	canal		
	獨	Kanal (m)		
	佛	canal (m)		
No. 10 C	日	側設運河	「河川」ノ航行困難ナル部分ニ沿フテ設ケタル「運河」	
	英	side canal lateral canal		
	獨	Seitenkanal (m) Nebenkanal (m)		
	佛	canal (m) lateral		
No. 11. C	日	小船運河	小船ヲ通ズル「運河」	
	英	barge canal		
	獨	Binnen kanal (m) Binnenschiffahrtskanal (m)		
	佛	canal (m)		
No. 12. C	日	大船運河	航洋船ヲ通ズル「運河」	
	英	ship canal		
	獨	Seekanal (m)		
	佛	canal (m) maritime		

(河川之部)

種別	用	語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 13. C	日	運河化	「堰」,「閘門」等ヲ設ケテ「河川」ヲ航行シ得ル様ニスルコト	
	英	canalization		
	獨	Kanalisation (<i>f</i>)		
	佛	canalisation (<i>f</i>)		
No. 14. C	日	いんくらいん	「運河」ノ高低差大ナル兩水面間ニ船ヲ通ゼンムルタメ設ケタル坂路	
	英	canal incline		
	獨	Schräge Bahn (<i>f</i>) Geneigte Ebene (<i>f</i>)		
	佛	plan (<i>m</i>) incline		
No. 15. C	日	運河昇降機	「運河」ノ高低差大ナル兩水面間ニ船ヲ通ゼンムルタメ船ヲ水槽中ニ入レ之ヲ上下セシムル工作物	
	英	canal lift		
	獨	Schiffshebewerk (<i>n</i>)		
	佛	ascenseur (<i>m</i>)		
No. 16. C	日	水路	水ノ流ル、路	
	英	chaunel		
	獨	Gerinne (<i>n</i>)		
	佛	chenal (<i>m</i>)		

(鐵道之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 1 A	日	あんちくり-ばー	軌條ノ「匍進」ヲ防グ爲 =軌條=取付クル裝置 備考「匍進」トハ軌條ノ ズルコト	
	英	anti-creeper		
	獨	Gleis-klemme (<i>f</i>)		
	佛	arrêt (<i>m</i>) de ramper		
No. 2 A	日	軸 重	車輛ノ一車軸ニカ、ル 重量、但シ車輪ノ重量 ヲモ含ム	
	英	axle load		
	獨	Achslast (<i>f</i>)		
	佛	charge (<i>f</i>) de l'essieu		
No. 3 B	日	道 床	「枕木」ノ受クル荷重ヲ 「路盤」ニ分布シ且ツ排水、 「軌道」整正等ニ便 ナラシムル目的ヲ以テ 使用スル砂利又ハ碎石 ノ類	
	英	ballast		
	獨	Bettungskörper (<i>m</i>)		
	佛	ballast (<i>m</i>) (ballastage) (<i>m</i>)		
No. 4 B	日	閉塞區間	同一線路ニ於テ同時ニ 二個以上ノ「列車」ヲ運 轉セシメザル區間	
	英	block section		
	獨	Blockstrecke (<i>f</i>)		
	佛	section (<i>f</i>) de block		

(鐵道之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 5 B	日	車 止	「軌道」ノ終端ニ設クル 車止裝置	
	英	bumper		
	獨	Prellbock (<i>m</i>)		
	佛	heurtoir (<i>m</i>)		
No. 6 C	日	架空索道	空中ニ鋼線ヲ架シ之レ ニ車輛ヲ懸垂シテ輸送ヲ 行フ交通機關	
	英	aerial cableway		
	獨	Luftseilbahn (<i>m</i>)		
	佛	funiculaire (<i>m</i>) aeriene, câble (<i>m</i>) aeriene		
No. 7 C S	日	かんと (高度)	「軌道」ノ曲線部ニ於テ 荷重ヲ兩側ノ軌條ニ等 シク分布セシムル目的 ヲ以テ外側ノ軌條ヲ高 ムル量	
	英	cant super-elevation		
	獨	Schienenüberhöhung (<i>f</i>)		
	佛	surhaussement (<i>m</i>)		
No. 8 G	日	車輛限界	車輛ガ「軌道」上正位ニ アル場合車輛ノ各部ガ 出テナラヌ限界	
	英	car gauge rolling stock gauge		
	獨	Umgrenzung (<i>f</i>) der Fahrzeuge		
	佛	gabari(<i>m</i>) de chargement		

(鐵道之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 9 C	日	貨車	貨物ヲ運ブ車輛	
	英	freight car		
	獨	Güterwagen (<i>m</i>)		
	佛	wagen(<i>m</i>) demarchandises		
No. 10 C	日	も-た-か-車	がそりん・えんじん又ハ電動機ヲ備ヘタル車輛	
	英	motor car		
	獨	Motorwagen (<i>m</i>)		
	佛	wagon (<i>m</i>) à moteur		
No. 11 C	日	客車	旅客ヲ運ブ車輛	
	英	passenger car		
	獨	Personenwagen (<i>m</i>)		
	佛	voiture (<i>f</i>) de voyageurs		
No. 12 C	日	ち-あ	「双頭軌條」又ハ「牛頭軌條」ヲ枕木ニ取付クル爲使用スル鐵杏	
	英	chair		
	獨	Schienenstuhl (<i>m</i>)		
	佛	coussinet (<i>m</i>) de rail		

(鐵道之部)

種別	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見	
No. 13	日	建築限界	「軌道」上ヲ通過スベキ 車輛=對シ一定ノ空間 ヲ存セシムル爲建造物 等ノ各部ガ侵スベカラ ザル限界	
	G	英 construction gauge clearance limit		
	C	獨 Umgrenzung (<i>f</i>) des Lichtenraumes		
	佛	gabari (<i>m</i>) de libre passage		
No. 14	日	亘り線	一線路ヨリ之ト並列セ ル他ノ線路=車輛ヲ渡 ラシムル爲ノ線路	
	C	英 Cross over		
	獨	Gleis-verbinding (<i>f</i>)		
	佛	jonction		
No. 15	日	交 叉	線路ト線路トノ交叉	
	C	英 crossing		
	獨	Kreuzung (<i>f</i>)		
	佛	croisement (<i>m</i>)		
No. 16	日	菱形交叉	斜角ノ「交叉」	
	C	英 diamond crossing		
	獨	Schiefe Kreuzung (<i>f</i>)		
	佛	croisement (<i>m</i>) oblique		

(鐵道之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 17 C	日	平面交叉	同一平面=於ケル「交叉」	
	英	level crossing		
	獨	Plankreuzung (<i>f</i>) der gleis		
	佛	croisement (<i>m</i>) à niveau		
No. 18 C	日	交叉亘り線	交叉セル「亘り線」	
	英	scissors crossing double cross over		
	獨	doppelte Greisverbindung (<i>f</i>)		
	佛	jonction double (<i>f</i>)		
No. 18, 2 C	日	直角交叉	直角ノ「交叉」	
	英	square crossing		
	獨	rechtwinklige Kreuzung (<i>f</i>)		
	佛	croisement (<i>m</i>) rectangulaire		
No. 19 C	日	くろ-ば-	一端ガ爪形ヲナシ「犬釘」ヲ抜ク爲等=使用スル鐵棒	
	英	claw bar		
	獨	Negelklaue (<i>f</i>), Geissfuss (<i>m</i>)		
	佛	Pied (<i>m</i>) de biche		

(鐵道之部)

種別	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 20 C	日 曲 線	曲線ノ線路	
	英 curve		
	獨 Kurve (<i>f</i>), Bogen (<i>m</i>)		
	佛 courbe (<i>f</i>)		
No. 21 C	日 曲線補整	曲線抵抗ヲ考慮シテ線 路ノ勾配ヲ緩ニスルコ ト	
	英 curve compensation		
	獨 Steigungsermässigung in Krümmungen (<i>f</i>)		
	佛 reduction de la declivite dans les courbes (<i>f</i>)		
No. 22 C	日 複心曲線	半徑ノ異ナル曲線ガ同 ジ向キニ連續セルモノ	
	英 compound curve		
	獨 zusammengesetzter Bogen (<i>m</i>), Korbbogen (<i>m</i>)		
	佛 courbe (<i>f</i>) en anse de panier		
No. 23 C	日 反向曲線	反對ノ向キニ連續セル 「曲線」	
	英 reverse curve		
	獨 entgegengesetzter Bogen (<i>m</i>)		
	佛 contre-courbe (<i>f</i>)		

(鐵道之部)

種別	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 24 C	日	緩和曲線	「かんと」ノ急變ヲ避クル爲圓曲線ト直線トノ間ニ挿入スル「曲線」
	英	transition curve easement curve	
	獨	Uebergangsbogen (<i>m</i>)	
	佛	courbe(<i>f</i>)de raccordement	
No. 25 C	日	縱曲線	勾配ノ變化スル箇所ニ挿入スル縱曲線
	英	vertical curve	
	獨	Ausrundungsbogen (<i>m</i>)	
	佛	courbe verticale (<i>f</i>)	
No. 26 D	日	脱線器	車輛ヲ脱線セシムル爲ノ装置
	英	derailer	
	獨	Entgleisungsvorrichtung (<i>f</i>)	
	佛	dérailleur (<i>m</i>)	
No. 27 D	日	脱線轉轍器	車輛ヲ脱線セシムル爲ノ「轉轍器」
	英	derailing point	
	獨	Entgleisungsweiche (<i>f</i>)	
	佛	aiguille(<i>f</i>)de déraillement	

(港灣之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 1. A	日	錨地	船舶ヲ錨泊セシムルニ 適スル水面、anchorage ハ錨泊スル爲ニ 支拂フ料金ヲ意味スル 事アリ	
	英	anchorage		
	獨	Ankerplatz (<i>m</i>)		
	佛	mouillage (<i>m</i>) ancrage (<i>m</i>)		
No. 2. A	日	埠頭前庭	「埠頭」ノ上面ニ於テ其 ノ肩ヨリ定置建設物迄 ノ部分	
	英	apron		
	獨	Uferstreifen (<i>m</i>)		
	佛	arête (<i>f</i>) de quai		
No. 3. B	日	舢	自航裝置ヲ有セサル貨 物運搬船	
	英	barge lighter		
	獨	Lichter (<i>m</i>)		
	佛	barge (<i>f</i>)		
No. 4. B	日	船溜 船渠	船舶ノ繫留其他ノ用ニ 供スル圍マレタル水面	
	英	basin		
	獨	Becken (<i>n</i>) Hafenbecken (<i>n</i>)		
	佛	bassin (<i>m</i>)		

(港灣之部)

用語	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 5. B	日 びん	粒狀或ハ粉狀貨物ヲ貯 フル爲ノ構造物	
	英 bin		
	獨 Kasten (m)		
	佛 caisson (m)		
No. 6. B	日 方塊	「こんくりと」等=テ 作リタル方形ノ塊	
	英 block		
	獨 Block (m)		
	佛 bloc (m)		
No. 6, 2. B	日 盤木	船舶ノ製造又ハ修繕= 際シ船體ヲ支持スル角 形ノ木材	
	英 block		
	獨 Block (m)		
	佛 tins (m)		
No. 7. B	日 繫船柱	繫船用ノ索ヲ掛クル爲 「埠頭」等ノ上ニ設ケタ ル短柱	
	英 bollard mooring post		
	獨 Poller (m)		
	佛 bollard poteau (m) d'amarrage		

(港灣之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 8.	日	防波堤	波ノ浸入ヲ阻止スル爲メニ築カレタル構造物	
	英	breakwater		
	獨	Wellenbrecher (<i>m</i>)		
	佛	brise-lames (<i>m</i>)		
No. 9.	日	浮標	標識又ハ繫船ノ用ニ供スル浮設構造物	
	英	buoy		
	獨	Boje (<i>f</i>)		
	佛	bouée (<i>f</i>)		
No. 10	日	沈函	周圍及ビ底ヲ有スル函ニシテ之ヲ沈置シ水中構造物トナスモノ	
	英	caisson		
	獨	Senkkasten (<i>m</i>)		
	佛	caisson (<i>m</i>)		
No. 10, 2	日	潜函	周圍及ビ天井ヲ有スル函ニシテ水中ニ沈メ壓搾空氣ニヨリ函内ノ水ヲ排除シ水底ノ作業ヲナスニ用フルモノ	
	英	pneumatic caisson caisson		
	獨	Drückluft-senkkasten (<i>m</i>)		
	佛	caisson (<i>f</i>) à l'air comprimé		

(港灣之部)

種別	語 用		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 11.	日	浮戸	「乾船渠」等ノ入口=使用スル函船形ノ戸。	
	英	caisson dock caisson, pontoon		
	獨	Ponton (<i>m</i>) Dockponton (<i>m</i>)		
	佛	bateau (<i>m</i>)—porte ponton (<i>m</i>)—caisson		
	日			
	英			
	獨			
	佛			
	日			
	英			
	佛			
	獨			
	日			
	英			
	獨			
	佛			

(下水道之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 1 A	日	曝 氣	液體中 = 微細ナル氣泡 ヲ通スカ又ハ液體ヲ飛 沫トシテ空氣 = 接觸セ シムルコト	
	英	aeration		
	獨	Lüftung (<i>f</i>)		
	佛	aération (<i>f</i>)		
No. 2 B	日	細 菌 ばくてりや		
	英	bacteria		
	獨	Bakterie (<i>f</i>)		
	佛	bactérie (<i>f</i>)		
No. 3 B	日	好氣性細菌	發育生存 = 酸素ヲ必要 トスル「細菌」	
	英	aerobic bacteria		
	獨	Luftliebende Bakterie (<i>f</i>)		
	佛	Microbe (<i>m</i>) aerobic		
No. 4 B	日	嫌氣性細菌	發育生存 = 酸素ヲ必要 トセザル「細菌」	
	英	anaerobic bacteria		
	獨	Luftscheue Bakterie (<i>f</i>)		
	佛	microbe (<i>m</i>) anaérobic		

(下水道之部)

種別	用	話	定義解釋	會員意見
No. 5 B	日	溜 楨	「下水管渠」=土砂等ノ流入セザル様沈滞セシムル楨	
	英	catch-basin		
	獨	Einfallschacht (m)		
	佛	bouche (f) d'égout		
No. 11 C	日	鹽素殺菌	有機物ヲ消毒シ「腐敗作用」ヲ遅ラシメ或ハ酸化セシムル爲「下水」中ニ鹽素又ハ晒粉ヲ加フルコト	
	英	Chlorination		
	獨	Chlorverfahren (n) Chlorung (f)		
	佛	Chloration (f)		
No. 12 C	日	汚泥搔寄機 くらりふあいや-	「沈澱槽」ノ「汚泥」ヲ排出口へ搔寄スル機械	
	英	clarifier thickner		
	獨	Klärungsvorrichtung (f)		
	佛			
No. 13	日	便 所		
	英	closet		
	獨	Aborst (m) Abtritt (m)		
	佛	cabinet d'aisance (m) latrines (f)		

(下水道之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 14 C	日	汲取便所	便及「下水」ヲ溜メ置ク「槽」	
	英	cesspool		
	獨	Abtrittsgrube (f) Senkgrube (f)		
	佛	fosse fixe (f) fosse d'aisance		
No. 15 C	日	水槽便所	自家用淨化槽ヲ有スル「水便所」	
	英			
	獨	Hausklaranlage (f)		
	佛			
No. 16 C	日	水便所	水ニテ洗ヒ流ス「便所」	
	英	water closet		
	獨	Abtritt (m) mit Wasserschluss Wasserklosett (n)		
	佛	water-closet (m)		
No. 65 R	日	流出係數	「流出量」ト降水量トノ比	
	英	coefficient of run off		
	獨	Abflusskoeffizient (m)		
	佛	coefficient (m) de déperdition		

(下水道之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 17 C	日	渠	水ヲ流ス管又ハ溝	
	英	conduit		
	獨	Leitung (<i>f</i>)		
	佛	conduit (<i>m</i>)		
No. 18 C	日	暗渠	上部ヲ開放セザル「渠」	
	英	closed conduit		
	獨	Verschlosseneleitung (<i>f</i>)		
	佛	conduit (<i>m</i>) couvert		
No. 19 C	日	開渠	上部ヲ開放セル「渠」	
	英	open conduit		
	獨	Offeneleitung (<i>f</i>)		
	佛	conduit (<i>m</i>) à ciel ouvert		
No. 20 D	日	散氣裝置	微細ナル氣泡ヲ水中ニ噴出セシムル裝置	
	英	diffuser		
	獨	Luftfilter (<i>m</i>)		
	佛	diffuser (<i>m</i>)		

(下水道之部)

種別	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 22 D	日 消 毒	病原菌ヲ殺スコト	
	英 disinfection		
	獨 Desinfektion (f)		
	佛 disinfection (f)		
No. 23 D	日 間歇注水装置	水又ハ「下水」ヲ一定量宛排出スル自働装置	
	英 dosing device		
	獨 Füllaparat (m)		
	佛 dose appareil (m)		
No. 25 D	日 排 水	地表水又ハ地下水ヲ管渠ニヨリテ流出セシムルコト	
	英 drainage		
	獨 Drainage (f) Entwässerung (f)		
	佛 drainage (m)		
No. 26 D	日 排 水 面 積	「排水區」ノ面積	
	英 drainage area		
	獨 Entwässerungsfläche (f)		
	佛 surface (f) drainée		

(下水道之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 27 D	日	排水區	「排水」施設ノ區域	
	英	drainage district		
	獨	Entwässerungsbezirk (<i>m</i>)		
	佛	Bassin (<i>m</i>)		
No.	日			
	英			
	獨			
	佛			
No.	日			
	英			
	獨			
	佛			
No.	日			
	英			
	獨			
	佛			

(應用力學之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 1 A	日	加 速 度	「速度」ノ時間的變化ノ割合	
	英	acceleration		
	獨	Beschleunigung (<i>f</i>)		
	佛	accélération (<i>f</i>)		
No. 2 A	日	息 角	粉體ヲ自然=放置シタル場合其斜面ノ水平面トナス傾斜角	
	英	angle of repose		
	獨	natürlicher Böschungswinkel (<i>m</i>)		
	佛	angle (<i>m</i>) du talus naturel de terre		
No. 3 B	日	桁	軸=直角ノ外力ヲ受クル材 (No. 4 削除)	
	英	beam		
	獨	Balken (<i>m</i>)		
	佛	poutre (<i>f</i>)		
No. 5 B	日	連 續 桁	一個ノ「桁」ニ三個以上ノ支點ヲ有スルモノ	
	英	continuous beam		
	獨	durchlaufender Balken (<i>m</i>)		
	佛	poutre (<i>f</i>) continue		

(應用力學之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 6 B	日	固定桁	端ヲ固定セル「桁」	
	英	fixed beam (built-in beam)		
	獨	eingespannter Balken (<i>m</i>)		
	佛	poutre (<i>f</i>) encastrée		
No. 7 B	日	單桁	兩端ヲ單ニ支持セル「桁」	
	英	simple beam simple-supported beam		
	獨	freiauffliegender Balken (<i>m</i>)		
	佛	poutre (<i>f</i>) reposant librement sur deux appuis		
No. 8 P	日	支持力	地盤ガ荷重ヲ支ヘル力	
	英	bearing power of soil		
	獨	Tragfähigkeit (<i>f</i>) des Baugrundes Widerstandsfähigkeit (<i>f</i>) des Baugrundes		
	佛	résistance (<i>f</i>) du sol de supporter		
No. 9 B	日	ばつくりんぐ	「長柱」又ハ「平盤」ノ屈曲	
	英	buckling		
	獨	Knickung (<i>f</i>)		
	佛	flambage (<i>m</i>)		

(應用力學之部)

種別	用 語	定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 10 C	日	突 桁 (かんちればー)	一端固定他端自由ナル 「桁」
	英	cantilever	
	獨	Freitträger (<i>m</i>)	
	佛	poutre (<i>f</i>) en porte à faux	
No. 11 C	日	かてなりー (垂曲線)	兩端ニテ吊ルシタル糸 ノナス曲線
	英	catenary	
	獨	Kettenlinie (<i>f</i>)	
	佛	caténaire (<i>f</i>)	
No. 12 C	日	重 心	物體ノ各部ニ働ク重力 ノ「合合力」ガ常ニ通 ル點
	英	center of gravity	
	獨	Schwerpunkt (<i>m</i>)	
	佛	centre (<i>m</i>) de gravité	
No. 13 C	日	粘 着 力	物體內ノ各部ガ互ニ密 着スル力
	英	cohesion	
	獨	Kohäsion (<i>f</i>)	
	佛	cohésion (<i>f</i>)	

(應用力學之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 14	日	柱	「直壓力」ヲ受クル材	
	C	英 column post		
	P	獨 Säule (<i>f</i>) Pfoste (<i>m</i>)		
	佛	colomn (<i>f</i>) poteau (<i>m</i>)		
No. 15	日	長 柱	強サガ「ばつくりんぐ」 =ヨリテ定メラルル 「柱」	
	C	英 long column		
	獨			
	佛			
No. 16	日	壓 力 壓 縮	物體ヲ壓縮スル力又ハ 其ノ作用	
	C	英 compression		
	獨	Druck (<i>m</i>)		
	佛	compression (<i>f</i>)		
No. 17	日	直 壓 力 直 壓 縮	物體ヲ一方向=壓縮ス ル力又ハ其作用	
	C	英 direct compression		
	獨	direkt wirkender Druck (<i>m</i>)		
	佛	compression directe (<i>f</i>)		

(應用力學之部)

種別	用 語		定 義 解 釋	會 員 意 見
No. 18 C	日	心	構造物ノ斷面 = 「張應力」ヲ起サザル爲 = 「壓力線」ガ通過スベキ限界	
	英	core		
	獨	Kern (<i>m</i>)		
	佛	noyau (<i>m</i>) central		
No. 19 C	日	偶 力	大サ等シク方向相反シタル並行セル一對ノ力	
	英	couple		
	獨	Kräftepaar (<i>n</i>) Drehpaar (<i>n</i>)		
	佛	couple (<i>m</i>)		
No. 20 D	日	撓 度	「桁」又ハ「拱」等ノ彎曲量	
	英	deflection		
	獨	Durchbiegung (<i>f</i>)		
	佛	flèche (<i>f</i>)		
No. 21 D	日	平 盤	平タキ板 = シテ力ガ其ノ面 = 平行 = 働クモノ	
	英	disc plate		
	獨	Scheibe (<i>f</i>)		
	佛	tranche (<i>f</i>) mince		

(應用力學之部)

種別	用	語	定義解釋	會員意見
No. 22 D	日	變位	外力等ノ爲ニ生ズル物體ノ位置ノ變化	
	英	displacement		
	獨	Verschiebung (<i>f</i>)		
	佛	déplacement (<i>m</i>)		
No. 23 E	日	彈性線體	完全ナル「彈性」ヲ有スル線體	
	英	elastica		
	獨			
	佛			
No. 24 E	日	彈性限界	物體ノ完全「彈性」ノ限界	
	英	elastic limit		
	獨	Elastizitätsgrenze (<i>f</i>)		
	佛	Limite (<i>f</i>) d'élasticité		
No. 25 E	日	彈性曲線	「桁」ノ彎曲セル時「中立軸」ノナス曲線	
	英	elastic line elastic curve		
	獨	elastische Linie (<i>f</i>)		
	佛	Ligne (<i>f</i>) élastique		

(應用力學之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 26 E	日	彈性曲面	「平板」ノ彎曲セル時 「中立面」ノナス曲面	
	英	elastic surface		
	獨	elastische Fläche (<i>f</i>)		
	佛	surface (<i>f</i>) élastique		
No. 27 E	日	彈性	外力ヲ取り去ルトキ完全=原形=復スル物體ノ性質	
	英	elasticity		
	獨	Elastizität (<i>f</i>)		
	佛	élasticité (<i>f</i>)		
No. 28 E	日	えねるぎ- (勢 力)	「仕事」ヲナス能力	
	英	energy		
	獨	Energie (<i>f</i>)		
	佛	énergie (<i>f</i>)		
No. 29 E	日	運動ノえねるぎ- (運動ノ勢力)	運動=ヨル「えねるぎ-」	
	英	kinetic energy		
	獨	kinetische Energie (<i>f</i>) lebendige Kraft (<i>f</i>)		
	佛	energie (<i>f</i>) cinétique force (<i>f</i>) vive		

(應用力學之部)

種別	用語		定義解釋	會員意見
No. 30 E	日	位置ノエネルギー (位置ノ勢力)	位置 = ヨル「エネルギー」	
	英	potential energy		
	獨	potentielle Energie (<i>f</i>)		
	佛	énergie (<i>f</i>) potentielle		
No.	日			
	英			
	獨			
	佛			
No.	日			
	英			
	獨			
	佛			
No.	日			
	英			
	獨			
	佛			

寄稿に関する注意事項

- (1) 御寄稿は成るべく本會の原稿用紙を用ひ横書きとすること、原稿用紙は御請求次第送附す。
 - (2) 御寄稿は止むを得ざる場合の外は成るべく本會の原稿用紙 150 枚（本會誌 50 頁）程度とされし、若し前記頁數を超過する場合は適宜其の程度に縮少を御願ひすることもあるべし。
 - (3) 假名は平假名とし、數字はなるべくアラビア文字を用ひられたし。
 - (4) 歐字は特に明瞭に認むること。
n と u, u と v, r と v, a と α, r と γ
其の他頭字と小字とを判然たらしむる事。
 - (5) 原稿には必ず冒頭に英文表題及内容梗概を添附されたし。
 - (6) 附圖附表に就ては次の各項に御注意ありたし。
 - (イ) 圖面はその儘縮寫し得る様にトレーシング・ペーパー、オイル・ペーパー、トレーシング・クロス等とす。
 - (ロ) 凡て墨色を用ひインキ類或は彩色を施さざる事。
 - (ハ) 方眼紙は青罫のものを用ひ（黄色、赤色の罫は使用せざる事）縦横線を必要とする部分には豫め墨線にて之を描き置かれたし。
 - (ニ) 圖表中の文字、數字は特に大きく肉太に書し縮寫したる後明瞭たらしむる事。
 - (ホ) 圖表類は製版の都合上可なり汚損するものと豫め御含み下されたし。
- (7) 寫眞は特に明瞭なるものを送られたし。
- (8) 講演、論說報告の各欄に掲載の分には抜刷 20 部を寄稿者に贈呈するものとし、尙寄稿者の希望に依り實費にて御要求に應ずる事あるべし。
算式其の他の記し方大體標準。
- (1) 本文、文字間に算式を挿入する場合には次の如く記すこと。 a/b と書き $\frac{a}{b}$ を避けること。 $(a+b)/(c+d)$ と書き $\frac{a+b}{c+d}$ を避けること。
- (2) 獨立したる列に算式を記す場合は次の如く記すこと。 $\frac{1}{3}x$ と書き $\frac{x}{3}$ を避けること。 $\frac{1}{2}(a+b)$ と書き $\frac{a+b}{2}$ を避けること。 $\frac{a}{b+c/d}$ と書き $\frac{a}{b+c\frac{1}{d}}$ を避けること。
- (3) 千以上の數字は 53 247 000 の如く 3 つ單位に間隔をあけること。
- (4) 名數は次の如く記し括弧の中の様を書くことを避くること。
83.4 尺（八丈三尺四寸）、7 吋（七吋）、35 錢（三十五錢）、13.56 圓（十三圓五十六錢）、1~4 時間（一乃至四時間）、88 326 噸（八萬八千三百二十六噸）、1929 年 1 月 1 日（千九百二十九年一月一日）。

新入會者にして既刊會誌希望者に告ぐ

本會々誌は新入會者には入會の月より以降發行に係るものより配布致すべきに付其の以前の會誌御希望の場合は一部に付下記金額振替口座東京一六八二八番に拂込み用紙通信欄に其旨記入請求せられたし

残 部 内 譯

第五卷一號二號	一圓	金壹圓	壹圓	圓
第六卷六號	同	金壹圓	圓	圓
第七卷二號三號四號	同	金壹圓	圓	圓
第八卷一號	同	金壹圓	圓	圓
第九卷一號二號三號五號六號	同	金壹圓	圓	圓
第十卷二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓	圓
第十一卷二號	同	金壹圓	圓	圓
第十二卷二號三號五號六號	同	金壹圓	圓	圓
第十三卷二號三號六號	同	金壹圓	圓	圓
第十四卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓	圓
第十五卷一號二號三號四號五號六號	同	金壹圓	圓	圓
同 七號八號九號十號十一號十二號	同	金壹圓	圓	圓
第十六卷一號二號三號四號五號	同	金壹圓	圓	圓
東京市内外交通に關する調査書	同	金壹圓	圓	圓
震害調査報告書(一、二、三)	同	金壹圓	圓	圓

本會會員轉居又は旅行の場合の注意

會員の住所の不明なときは會誌の配布を始め其他通信上に差支候に付御轉居の際は至急明細に御通知相成度又御旅行等にて御不在となるも會費支辨には差支なき様御配慮相成たし

會 費 納 付 に 付 注 意

本會々費は下記の通りにして本會より發する振替集金に對し是非御支拂願度事若し此の集金書へ十五日間中三回の取立金支拂なき場合は最寄郵便局に就き本會振替口座東京一六八二八番に(拂込用紙通信欄に會費たる事を記入の事)御拂込相成度尙會費一時納付の御豫定又は其の他の都合に依り支拂なき場合は直に御通知相煩度

朝鮮滿洲の一部及び青島等振替貯金を取扱はざる地に居住せらるゝ會員は納期の翌月末頃迄集金を受けざるときは爲替其他の方法に依り直ちに御送金相成たし

會員種格	會 費 年 額	自一月 至四月 第一期分二月徴收	自五月 至八月 第二期分六月徴收	自九月 至十二月 第三期分十月徴收
會 員	金拾八圓	金六圓	金六圓	金六圓
准 員	金拾貳圓	金四圓	金四圓	金四圓
學 生 員	金七圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢	金貳圓五拾錢

新に入會したるものは月割算として入會の翌月集金を發す

會 費 未 納 に 付 注 意

會費は從來年額を第一期第二期第三期に分割し毎年二月六月十月に振替貯金郵便として取立方を郵便局に依託の處往々集金郵便に對して放なく支拂を拒絕し尙他の方法に依りても送金なき者あれ共斯くては會費滞納者として遺憾ながら規則第十三條第一項に依り遂に會誌の配布を停止せらるゝに至るべく又本會に於ても未納金督促の手數一通ならず故に今後右様のことなき様特に御留意の上集金郵便に御拂込相成たし

會 誌 未 着 の 場 合 の 注 意

會誌は毎年毎月十五日(印刷又は原稿等の都合に依り遅延する事あり)に發行し漏なく配布すべきに付未着の場合には一應本會に御照會相成たし從來往々發行後數ヶ月経過して照會せらるゝ向あるも斯くては殘部皆無となり遺憾ながら配布不可能のことあるべきに付御留意相成たし

雜誌閱覽に就ての會告

下記の雜誌は本會事務所に備付置候間御希望の向は下記時間内御隨意に御閱覽相成度候。

閱 覽 時 間

日曜日及祭日休、土曜日自午後一時至同四時、其他自午後四時至同八時。

但し役員會、委員會等開催の日は御斷り致すこと有之哉も計られず候間豫め御承知置被下度候。

備 付 雜 誌

Engineering Engineering News-Record Le Génie Civil Railway Gazette 衛生工業協會誌 機械學會誌 業務研究資料(鐵道大臣官房研究所) 建設 建築雜誌 工學部紀要(東大、京大、九大) 工學報告(東北帝大) 工業化學雜誌 工事彙報	工 港 政 港 際 建 築 時 論 國 際 建 築 時 論 造 船 協 會 々 報 帝 國 鐵 道 協 會 々 報 鐵 道 協 會 々 報 電 氣 學 會 誌 電 氣 製 鋼 誌 土 木 建 築 雜 誌 日 立 評 論 名 古 屋 工 業 會 々 報 滿 洲 技 術 協 會 誌 其 他 寄 贈 雜 誌
---	---

廣 告 料 (東京市京橋區築地上柳原町八番地 東京第一通信社取扱) 電話京橋 872 番、振替東京 3069 番

普通廣告 一回一頁 40 圓 一回半頁 25 圓

指定廣告	}	裏表紙三面對向 及廣告初頁	一回一頁 60 圓
		裏表紙三面	一回一頁 150 圓
		色アート	一回一頁 75 圓

○指定廣告は凡て一箇年繼續申込のものに限り取扱ふものとす

○會員自身の廣告に對しては總て上記料金の一割引とす

○同一廣告の連續掲載申込に對しては半箇年分五分引、一箇年分一割引とす

○廣告に寫眞版又は木版等を挿入する場合は之に要する實費を別に申受くるものとす